

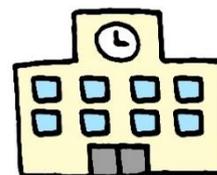
戸田地区にお住まいの皆様へ

～戸田小・中学校について～

＝戸田地区小中一貫校推進委員会たより No.1＝

平成 28 年 12 月 発行
沼津市教育委員会事務局 教育企画課
所在地：沼津市御幸町 16-1
電 話：055-934-4821
F A X：055-931-8977
E-mail：kyouiku-ki@city.numazu.lg.jp

日頃より本市の教育行政にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
戸田地区においては、児童生徒にとってのより良い教育環境の整備、教育の質の更なる充実を目指し、戸田小・中学校の一貫校化に向けた取組を、この夏にスタートしました。皆様にはその経過等についてお知らせします。

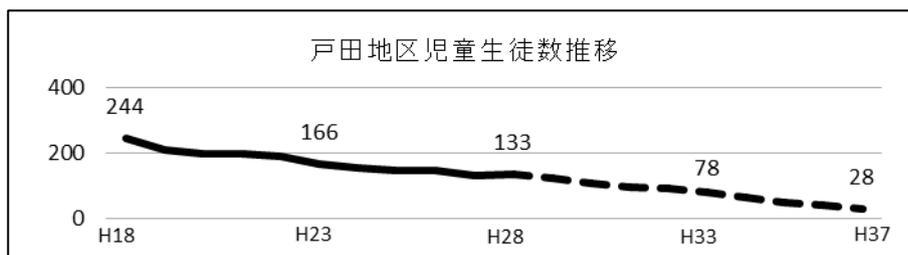


戸田小・中学校の状況は・・・

(1)児童生徒数について

沼津市教育委員会事務局では、今後の小・中学校の在り方を考えていくため、市内の児童生徒数の推計調査を実施いたしました。地域まちづくり研究所の推計によりますと、戸田地区の今後の児童生徒数の推計として、平成 37 年度には小中合わせても 28 人^{※1}になることが見込まれています。

※1：平成 27 年 6 月、地域まちづくり研究所による出生数の推移に基づく推計値。



一般的に、児童生徒数が少ない小規模校においては、以下のような良さや課題が挙げられています。

小規模校の良さ	小規模校の課題
<ul style="list-style-type: none">子どもたち一人一人がきめ細かな指導を受けられる。様々な活動において一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える。	<ul style="list-style-type: none">子どもたちの人間関係が固定化しやすい。子ども同士で切磋琢磨する機会が少ない。運動会をはじめとした行事等に制約が生じる。

(2)校舎と学校の配置について

戸田小学校の校舎は築 37 年、戸田中学校の西校舎は築 51 年、東校舎は築 54 年が経過し、老朽化が大きな課題となっているため、施設の改修等が必要と考えています。

また、戸田地区には現在の学校を除いては学校施設がなく、隣接地区の学校とも距離が離れているため、隣接地区の学校へ通学することは大変難しい状況です。

戸田小・中学校の今後の方向性は…

現在、小・中学校が9年間を通じた計画的・継続的な教育を行う小中一貫教育が全国的に増加しており、「中一ギャップ^{※2}の緩和」「異学年の児童生徒による交流の深まり」「小・中学校共通で実践する取組の増加」などの成果が見られています。

本市においては、平成26年4月に開校した静浦小中一貫学校から上記以外にも様々な成果が報告されています。こうしたことから、戸田小・中学校においては、本年4月から本市研究指定校として、両校が連携して学力向上を目指す研究に取り組んでいます。

戸田地区における今後の児童生徒数の減少傾向を考えると、児童生徒にとってより良い教育環境を整備すること、教育の質の更なる充実を図ることが急務です。

そのため、戸田地区では、現在の校舎を活用して小中学生が1つの校舎で学ぶ小中一貫校を整備し、以下に挙げることを実施していくことを考えています。

※2：小学校から中学校への進学において、不登校などの生徒指導上の諸問題につながっていく事態等。

- ・義務教育の9年間を通じてこれまで以上に特色ある教育活動を実施する。
- ・日常的に異学年の子ども同士が交流する機会を増やすことで同学年の子ども的人数が少ない点を補う。
- ・教科によっては中学校の教員が小学校高学年の授業を受け持ち、専門性の高い授業を実施することで学力の向上を目指す。



戸田地区小中一貫校推進委員会を開催しました

戸田地区の住民、児童生徒の保護者及び学校関係者等からなる戸田地区小中一貫校推進委員会（以下、委員会）を設置し、本年8月30日に第1回委員会を、11月7日に第2回委員会を開催しました。



＜委員会が出された主なご意見、ご質問＞

- ・今後の子どもの数の更なる減少が心配である。
- ・子どもの数が減っても、教育の質を維持し続けてもらいたい。
- ・静浦小中一貫学校の様子を踏まえた上で戸田小中の将来を考えていく必要がある。
- ・戸田小中一貫校としての魅力的な取組がほしい。

上記以外にも様々なご意見、ご質問をいただきました。

教育委員会では、いただいたご意見等を踏まえ、児童生徒にとってより良い教育環境を整備するために役立てていきたいと考えています。

※次号は、3月の発行を予定しています。